



国際医療リスクマネジメント学会 世界健康リスクマネジメントセンター

医療安全国内講習会 主催者の挨拶

医療安全教育セミナー2013 年度冬期

(日本語社会人教育プログラム)

リスクマネジメント技術の実習編

2013 年度冬期の「医療安全教育セミナー」を開催する運びとなりました。

本教育実習の目的は医療現場におけるミスの原因を調査し、そこから病院システムの改善方法を構築するヒューマンファクター分野での典型的な諸技術を習得することを目的としております。

第1日目は各技術のガイダンスで、それぞれの技術の演習責任者により、第2日、第3日目における小グループ演習での基本知識が解説されます。

第2日目は TeamSETPPS と RCA、第3日目は FMEA と KYT を課題とした小グループ学習が実施されます。

中でも、RCA と FMEA は英語圏の医療機関において医療安全のヒューマンファクターとして活発に導入されています。また本プログラムでは、医療従事者個人のリスク感覚の向上のための KYT についても学習します。

なお、医療チーム内部の不具合によって甚大なミスが生じています。そこで、今年度からは、近年米国厚生省が開発したチーム医療での新しい安全改善策である TeamSETPPS の基礎編も実習する運びとなりました。

安全教育はすべてのミス予防の基本であり、人類の永遠の課題です。
それには、関連する知識ならびに技能に関する日々の向上が不可欠です。

2013 年 10 月
国際医療リスクマネジメント学会
世界健康リスクマネジメントセンター
会長・理事長 酒井 亮二

主催者一同